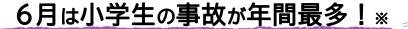
令和7年6月発行









※愛知県内過去5年間(令和2~6年)の

6月は、小学生(歩行者・自転車乗車中)の交通事故が年間最多となる月です。 学校生活に慣れ、注意力が低下する時期であるからと考えられます。友達と遊ぶ範囲も広がり、 下校後の午後3時~6時の間に事故が多発します。

事故を防ぐため、大人の方からお子様へ、いま一度声かけをお願いします

歩くとき(横断中の事故多発!)

- ○道路を渡るときは、横断歩道を利用する。
- ○道路を渡る前に、左右の確認をする。
- ○道路で遊ばない。

みぎ・ひだりを よく見ようね



自転車に乗るとき(出合頭の事故多発!)

○必ずヘルメットを着用する。

○「一時停止」のある場所や見通しの悪い

交差点では必ず止まって左右を 確認する。





公園や施設等から道路に出る際、友達と話していたりすると注意 散漫になり、飛び出しにつながる危険があります。「道路に出る時は 必ず止まって安全確認する」ことを念入りに伝えましょう。



梅雨の時期の事故防止



【歩くとき】

雨の日は昼間でも暗く見通しが悪くなります。洋服や傘、長靴などはなるべく 白や黄色、パステルカラーなどの明るい色を選ぶと、車両から目につきやすく、 事故防止に役立ちます。夜は反射材を身につけましょう。

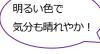
【車両を運転するとき】

≪音と視界≫ 雨音で車外の音が遮断され、状況判断を誤るリスクが高まります。**車内の** 音楽などを控えめにしたり、場合によっては窓を少し開けるなど工夫をしましょう。 雨滴や汚れで視界が不良になるため、運転前に窓やワイパーの清掃をしましょう。



豊田市では、ドライブレコーダーを活用した 運転診断サービス"ドラみる"の体験者を募集中です。

事業内容・応募の概要は右記の2次元コードからご確認ください。





きれいに!

